

## 第1回能登町行政改革推進委員会 会議録

- 日時 令和5年10月25日(水) 15:00～  
○場所 能登町役場 2階 201会議室  
○出席  
・推進委員会  
中山会長、坂上委員、山根委員、  
鍛冶委員、矢後委員、本谷委員  
・事務局  
総務課(蔭田課長、大倉課長補佐、  
坂本主幹(DX推進室)、蔵前主幹)

### 次 第

1. 開会
2. 委嘱状交付式
3. 議題 令和4年度第4次行政改革大綱アクションプラン実績について
4. 閉会

事務局	<p>ただいまより令和5年度第1回能登町行政改革推進委員会を開催いたします。会議に先立ちまして、委員の委嘱をいたしますので、町長より委嘱状の交付を行います。お名前をお呼びしますので、その場でご起立をお願いいたします。それでは町長よろしく願いいたします。</p> <p>(各委員に委嘱状を交付)</p>
事務局	<p>それでは町長がご挨拶を申し上げます。</p> <p>(町長 挨拶)</p>
事務局	<p>ありがとうございました。 なお、町長はこの後、公務のためここで退席となります。</p> <p>(町長 退席)</p>
事務局	<p>それでは最初の委員会ということもありますので、自己紹介をお願いしたいと思います。</p>

	(委員、事務局の自己紹介)
事務局	<p>続きまして、能登町行政改革推進委員会設置要綱に基づき、会長と職務代理の選任に移りたいと思います。まず会長を互選により選出し、その後、会長より職務代理の指名をしていただきたいと思います。</p> <p>まず会長の選任からですが、どなたか適任だと思われる方はいらっしゃいますか。</p>
鍛冶委員	事務局の方で何かありますか。
事務局	<p>事務局案は特にありませんが、皆さんでお話していただければと思いますけれども。前年されている方もいらっしゃるなので、そのまま継続という形もありますし、誰か他の方という形も、もちろんありますので、話し合っただけであればよろしいですが、参考としまして、前任は中山さんでした。</p> <p>皆さんのご意見とすれば中山さんのようですが、よろしいでしょうか。</p>
	(全委員 同意)
事務局	<p>それでは、会長は、中山さんということでよろしく願いたします。中山会長はお席の移動をお願いいたします。</p>
	(中山会長移動)
	<p>それでは、改めまして中山会長さんからご挨拶をお願いいたします。</p>
	(中山会長挨拶)
	<p>ありがとうございました。続きまして中山会長から、職務代理の指名をお願いします。</p>
中山会長	私からですか。事務局案はありませんか。
事務局	事務局でということにはないのですが、参考データといたしましては、前年は山根さんでしたということですが。

中山会長	<p>それでは、私の方から、商工会を代表いたしました山根さんをお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか？</p>
山根委員	<p>お引き受けいたします。</p>
事務局	<p>それでは会長さんからご指名がありましたので、山根委員さん、よろしくお願ひします。</p> <p>それでは能登町行政改革推進委員会条例第5条の規定により、会長が議長となりますので、中山会長よろしくお願ひいたします。</p>
中山会長	<p>では、会長が会議の議長を行うということでございますので、この後の課題につきましては、議事の進行をさせていただきます。会議のスムーズな運営にご協力をよろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは早速ですが、議事に入らせていただきます。</p> <p>事前に事務局からお配りしました、第4次能登町行政改革大綱アクションプラン令和4年度実績をもとに、ご意見をいただきたいと思っております。</p> <p>初めに事務局の説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>(第4次アクションプラン令和4年度実績について説明)</p>
中山会長	<p>ただいまの事務局からの説明について、何かご意見ご質問はございませんか。</p>
矢後委員	<p>わからないので、質問でもいいでしょうか。</p> <p>ICTを活用した業務効率化の検討の中の、地図情報システム、GISの活用を検討ですけれども、この地図情報がどういったもので、これを活用すると、どう効率化が進められるのか。ということがわからないので教えてください。</p>
事務局	<p>地図情報システム、GISといいますのは、住宅地図がありまして、その上にいろんなデータを乗っけていって、それを外から一直線、縦串で見ようというシステムになります。</p>
矢後委員	<p>乗せていく情報というのはどんなものでしょうか。</p>

事務局	<p>例えば住宅地図の上にハザードマップを載せます。その上に避難所情報や土砂警戒区域を載せると、そうすると縦串で見るときにここは土砂災害警戒区域と避難所はここなんだとかハザードマップや避難所はここだということが地図上で全部把握することができるというシステムになります。</p> <p>税務課でこのシステムが入っているのですが、地番図といいますか、土地の所有者は誰とか、地目がどれだけ、面積がどれだけとか、外部には出ませんが、土地評価額といった税関係情報があります。境界ははっきりしていないので、公的にも証明はできませんが、大体の参考資料となります。また、例えば建設課で道路がここを通っているとか、水道課の方ではここに配管が走っているとか、そういう各課で持っている情報が一つのシステムで全部連携して見られないかなということなのです。</p> <p>その一本化がどこまでできるかを検証中で、一定の精度がないと駄目とか、細かい話もありますので、それぞれの課が本当に使えるものになるのか、少しでもレイヤーを重ねて確認できるシステムにしていくことでコストダウンが図れないか、という調整を今後していかなければならないという状況です。もちろん情報ごとにレイヤーで分けて、セキュリティーをかけながらやっていきたいなと思っていますところなのです。</p>
矢後委員	<p>わかりました。例えば工事だとか道路拡幅とか、そういうことであつたとしても、登記が済んでいなく、個人所有のままところもあるようなことも伺ったことがあるので、そういったところがあるとすると、全部ピタッというわけではないのかもしれないなと思いがらお聞きしました。</p>
中山会長	<p>今ここにいるメンバーの家を中心とした地図がぱっと出てきて、そこに今入っている情報が全部その地図の中に入ってくる、見える化という考え方になるのでしょうか。</p>
事務局	<p>そうですね。各課で持っている地図があるので、それを一つにまとめて、一つのシステムで利用できないかと。ただ、経費もそれぞれにかけていますし、用途によって、こんな精度では駄目とかがあります。本当に有効利用になるのか、費用対効果を見ながら進めなければならぬということ、なかなか難しい面もあります。</p>

中山会長	一本化しての活用に関して、将来どんな効果を狙っているのかという質問がありました。
事務局	<p>それに関しては、各課でかかっている経費の削減になるかと思えます。また、一つのデータで引っ張ってくれば、町民に対しても、すぐ説明できることになり、お答えも早くなるというところです。</p> <p>一番は経費の削減といいますか、行政経費を何とか削減したいという目標ですけれど、現実的にはなかなか難しいです。基本的には税務課で撮っている航空写真を利用していきたく考えています。</p>
本谷委員	例えば費用の問題を考えたときに、町単独ではなくて、範囲を広げれば、コスト的にはダウンできるのではないかと思うのですが。
事務局	各役場のシステムはベンダーも違いますので、合わせるの難しい。DXにもありますが、国でも令和7年度を目標に日本中一緒の様式にしようと進めている最中ですが、なかなか難しい。お互いの進み方が違うので、統一しようとしても非常に難しいイメージです。
中山会長	<p>私もちょっとよろしいでしょうか。</p> <p>先日、女性県政会議と言って、馳知事をお迎えしての会議があったのですが、その中で知事が、多分、地図情報システムとおっしゃったと思うのですが、その中に、雪害とか土砂災害が起こったときに、1人暮らしの方がどこに居るとか、そういうものを入れていくシステム作りを2市2町でやっていくとおっしゃったのですが、それも関係あるんでしょうか？</p>
事務局	<p>直接的にはそれではありません。今おっしゃっているのは「デジタルライフライン」のことになりまして、弱者の方とかいろいろな障害のある方とか、要援護者とかがどこにおいでるんだとか、災害があったときにそういう情報があればすぐ対応できるでしょうという話で、今、2市2町で進めているものになります。</p> <p>そういうものも一緒に合わせていければよいのですが、非常に難しいですね。</p>
中山会長	他にご質問ご意見がありましたらお願いいたします。

坂上委員	<p>職員の定員適正化の話ですけれども、年々減っていますが、自然減少でしょうか。辞めても採用しないということでしょうか。ただ減らせばいいという問題ではないかなと思うのですけれども、逆に言うと、定員というのは決まっているのでしょうか。答えられる範囲で良いのでお願いいたします。</p>
事務局	<p>職員定数条例というものがあまして、その中で上限は決まっています。例えば町長の事務部局の職員であれば230人で、それを超えられないということで上限は決めているんですけれども、その中のやり繰りについては、この定員適正化計画に基づいて運用しております。</p> <p>定員適正化については、4次までの計画と5次の計画はちょっと捉え方違うので、会計のややこしい話になりますが、下水道は以前は特別会計と言いましたが、企業会計になりまして、病院とか水道と同じように企業会計に移ったもので、下水道は4次には、定員の中に入っていました、5次からはその下水道に係るものが抜けてまして、人数が違うようになっています。</p> <p>計画は、その枠の中でやっていきたいと思いますというものなのですが、国の制度によっては、こういう仕事が出てきたとなれば、仕事が優先となり、おっしゃったように、ただ少なくすれば良い、ではなく、本当の需要に応じた定員でやっていくことになりまして、減らしても駄目なので、町民のサービスを考えているのですが、それとは別に、現状を考えて立てた計画が、この定員適正化計画というものになります。</p>
本谷委員	<p>余談ですが、募集して定員まで応募があるものでしょうか。</p>
事務局	<p>採用は年の途中にあるんですけど、その後に辞める人が増えるということもあります。定年であれば読めるのですが、これは計画通りにはいきません。定年以外の方が辞めると、いきなり計画よりぐっと下がったような数字になってしまうこともあります。</p> <p>翌年にはカバーするようにはしているのですが、今は、なかなか国家公務員でも県の職員でも地方公務員でも非常に募集の倍率が少なくなってきました。少子化もあろうかと思えますし、若い人の考え方にもよりますけれども、一般職はともかくとして保育士とかいろんな技術職の方の募集に苦しんでいます。病院でも、薬剤師さんが来てくれないということで、いろんなところでお願いしながら</p>

	<p>らやっているのですが、そういうところは非常に問題になっています。</p> <p>また、あくまでも定員は定員で、行政の本当に突発的なもの、例えばコロナ禍でのものは会計年度任用職員で対応するようなこともあります。</p> <p>それから、今年から定年延長が始まりまして、今年の退職の人は61歳まで定年が伸びます。60歳で辞めるかもしれませんが、いることを前提に計算しないとイケません。65歳になる令和13年までは2年に1回辞めていくというパターンになります。ただ、新陳代謝も考えて、将来、この年の人がいないということがないように職員を入れていって、減らすにしても、何人かは必要になるということになります。</p>
中山会長	<p>能登高校を卒業した人が地元に残るということで、役場に採用されているんですけど、そういう高校生の就職とか、人口が移動していかないような配慮などということも加味できたらいいのかなと思います。その辺はどうなのでしょう。</p>
事務局	<p>そのような枠はありませんけれど。</p> <p>もちろん高校生以外でも、いてくればいいのですが、実際はなかなか。一度出られて、大学に行かれたりすると、こっちに来るといのは、役場であっても難しくなります。人口が減っていく以上は、公務員も減る方向に行くと思います。やっぱりDXを入れながら、日本中の公務員は削減していくのかなというイメージではあります。</p>
本谷委員	<p>うちの会社では、配属先は金沢などもあるのですが、地元の配属もあると言ったところ、それなら辞めますということになる。金沢などに行きたいと思っているようで、それが現実です。</p>
事務局	<p>求人を出すときには、転勤が前提になっているということがわかっていないのかもしれませんがね。</p>
中山会長	<p>この問題については、これでよろしいでしょうか。</p> <p>他に、ありませんか。</p>
山根委員	<p>旧町村史のことで、今年度、実施されるということですがけれども、</p>

	<p>ついでと言ってはなんですけれど、この前報道で聞いたのですが、災害に遭った地域が防災マップにも何も出ていない地域だったのですが、大変な被害を受けまして、ただ調べてみると 300 年前にも同じような災害があったというようなことが記録されていたんです。それが活かされてなかったということで、今もし、町村史とかが調べられるのであれば、過去の防災を現在に活かせるような何かを一緒に記載できれば良いと思うのです。</p> <p>これには無理だったら何か違う形でも、過去に何かあったことをあげてもらおうという、そういうことは無理でしょうか。</p>
事務局	<p>このアーカイブ、デジタル化を公開に向けて今作業を実施しているところですが、内容見ると災害の状況とかも実際記載してあるんです。ただ、それだけを抜き出すとなるとどうか。</p> <p>今考えていますのは、キーワード検索といたしまして、地名を入れるとヒットするページが出てくるというもので、例えば「災害」と入れれば該当する章が出てくると。ただ、選び方によっては、ヒットする項目が多過ぎて大変ではないかと思います。</p>
中山会長	<p>Google とかで検索して出てくるイメージですよ。ただ、章が出てくるという形では、なかなか難しいですよ。</p>
事務局	<p>おっしゃっているようなことができればよいと思いますが、システム上難しいところもありますね。</p> <p>情報発信については、広報やテレビもありますが、今、LINE のアプリを使った情報発信を考えています。公式 LINE を立ち上げ、気象情報などを発信していく予定で、今年度中に作って、来年の 4 月ぐらいからできればと。</p> <p>双方からできれば良いのですが、まずは情報発信からと思っています。</p>
矢後委員	<p>デジタルアーカイブは、町史や村史を写真に落として保存ではなく、文字として認識するようなデータを作っていくということでしょうか。</p>
事務局	<p>今は冊子がありますけども、それを PDF 化したものと、それをさらにテキスト版で横文字で表記したものと 2 種類作ろうと考えているところです。</p>



	<p>冊子も良いのですが、それがなくてもネットで検索できるようになるので、興味のある方には、すぐ見られるようになって便利になります。スマホにも対応した形でやろうかと思っています。</p>
中山会長	<p>ほかの項目についてご質問はよろしいでしょうか。</p>
本谷委員	<p>補助金等の見直しの中に、能登高校を応援する会でマイナスとなっていますが、要するに、出してはいるが使われていないので一時的に減らすということでしょうか。それとも、今後は出さないということなのか、どちらでしょうか。</p>
事務局	<p>定期の補助や奨学金などが対象になっておりますので、その対象者が確定して、減ったことによるものです。来年度も同額ということではなく、対象者が増えればその分、また補助されます。</p>
中山会長	<p>それでは、全体を通して今日の会議に対して質問等はございませんでしょうか？</p> <p>配布いただいた、能登町DX推進計画については？</p>
事務局	<p>せっかくなので、簡単にご説明させていただきます。</p> <p>(推進計画、デジタル化アンケートの調査結果について説明)</p>
中山会長	<p>アンケートに答えられた方もおいでるかと思いますが、膨大なアンケートですね。お疲れさまでした。</p> <p>何かお尋ねしたいことはございませんか。</p>
本谷委員	<p>アンケートもペーパーではなく、DXにすれば良かったですね。</p>
事務局	<p>紙で送ったものと、紙にQRコードを載せて、QRコードで回答してくださいというものやホームページでの回答があったのですが、ウェブ回答が40人でということで、ちょっとPRが足りなかったかなとは思っています。</p>
山根委員	<p>一つだけ質問させていただきたい。</p> <p>キャッシュレス化の導入で会計課と宇出津病院とありますけども、今調査検討中で令和6年から実施となっていますが、これは患</p>

事務局	<p>者さんのことでしょうか。</p> <p>利用者は高齢者の方ばかりですけどキャッシュレス化の実施までたどり着くのでしょうか。</p> <p>担当課から聞いてるところでは、役場の会計課や1階の窓口の諸証明に対して、QRコードなどで決済できるように今検討しているということは聞いております。</p>
山根委員	<p>病院は高齢の患者さんが多いので、実際にはQRコード決済とかそういうのはできるのかなと思います。その辺はどんどん増やして実施していくということでしょうか。</p>
事務局	<p>高齢者の方には、スマホを持ってない方もおられますので、まずはスマホを持っていただくということで、スマホ教室などで便利さを広めていこうかなと考えています。</p> <p>徐々に使える人が増えていくと思いますので、その準備をしていくということです。</p> <p>具体的に出ているのは、役場ということです。いろんな人がおいでるので、キャッシュレスにしたい人もあれば直接支払いたい人もいて、ニーズも多様ですから、いろいろ考えていかなければいけません。</p>
中山会長	<p>それでは、これで終わりたいと思いますが、皆さんよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">(議事終了の旨 了承)</p> <p>以上をもちまして本日の会議を終了します。 皆さんお疲れさまでした。</p> <p style="text-align: right;">(閉会 16:20)</p>